

「令和8年熊本地震」で被災された 皆さまに心よりお見舞い申し上げます



被害が大きかった産直生産者「やまびこ会」生産者の自宅。片付けや屋根の修繕、瓦礫の撤去を行いました。



避難所などへ支援物資を届けました(写真は、八代小学校や氷川中学校に物資を届けた時の様子)。



産直たまごの生産者「庄村養鶏場」の鶏舎では建物が被害を受け、母鶏を移動する対応に追われました。



組合員による炊き出しで食事を提供。



猛暑が続く被災地へ冷蔵庫や冷凍ストッカー、アイスなどの冷たい食べものを届けています。

2016年の熊本地震の際に設置した熊本地震グリーンコープ災害支援センターの職員や、グリーンコープの会員生協から応援に駆けつけたスタッフが、被災地を支えています。

今回の地震は、グリーンコープの生産者や取引先、被災された方々への支援に、大きな被害を受けました。今回の地震は、グリーンコープの生産者や取引先、被災された方々への支援に、大きな被害を受けました。

グリーンコープは被災地の一日も早い復興を願い、組合員に支援募金を呼びかけています。現在までに多くの支援金が寄せられています。募金は、今後も継続して呼びかけ、支援活動や復旧・復興に役立てていきます。

グリーンコープは被災地の一日も早い復興を願い、組合員に支援募金を呼びかけています。現在までに多くの支援金が寄せられています。募金は、今後も継続して呼びかけ、支援活動や復旧・復興に役立てていきます。

7月28日、熊本県熊本地方を震源とする最大震度7の地震が発生しました。10年前、二度の震度7の地震に襲われた熊本県は、またも大きな災害に見舞われました。八代市や宇城市、氷川町などを中心に、甚大な被害がもたらされています。お亡くなりになられた方のご遺族には、謹んでお悔やみ申し上げます。グリーンコープは地震発生後、直ちに被災地に駆けつけ、支援活動を開始。必要な物資を避難所に届け、炊き出しを行うなど、これまでの災害支援の経験をもとに、今できることに取り組んでいます。



社会福祉法人グリーンコープ熊本県本部(以下、社福熊本)のワーカーは自身が被災しながらも、地域の人々に向けて炊き出しを行いました。280人の方が訪れました。

現地の要望を聞きながら迅速に支援を開始

「令和8年熊本地震」

発生翌日の7月29日、グリーンコープは、水1200本とタオル1000枚を支援用トラックに積み、支援に駆けつけました。同日夕方には、水やグリーンコープの店舗で調理した総菜やおにぎりを、八代コミュニティセンターで避難されている方々に届けました。

翌30日には、被害の大きかった氷川町の避難所3カ所へ、汗拭きシートやペーパータオル、水、生理用品を届け、八代市の避難所や高齢者施設、被災した生産者のもとにも、食料などの支援物資を届けました。



氷川町の西福寺で炊き出しを行い、300食以上を提供しました。

令和8年熊本地震災害支援募金 ご協力をお願いします

申込番号	一口	いつでも何口でも申し込めます
018	200円	共同購入申込書の申込番号の数量欄に口数を記入してください。
申込番号	一口	※【例】申込番号【018】の数量欄に「2」と記入された場合は、400円のカンパとして受け付けさせていただきます。
019	500円	

グリーンコープの災害支援を お知らせしています。

ホームページ



Instagram



グリーンコープ令和8年熊本地震

検索

令和8年熊本地震グリーンコープ災害支援センターを立ち上げました
電話とメールで必要な物資の申し込みを受け付けます。
電話 080-1761-4359
saigai-shien@greencoop.or.jp

共生の時代

みどりの地球を
みどりのままで

2026 9 月

■発行：一般社団法人グリーンコープ共同理事会
■編集：共生の時代・編集部
■〒812-8561
福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号
博多大博通ビルディング4階
TEL 092 (481) 7923
FAX 092 (481) 7876
<https://www.greencoop.or.jp/>

Contents

耶馬溪ファーム開場式	2
産直グリーンコープミルク ノンホモが誕生します	3
共生・平和長崎自転車隊 自転車隊内部学習会	4・5
2027カーボンニュートラルvol.20 気候正義弁護団代表 島昭宏さん講演会	6
子どもケミネット 年次総会記念講演会 「マイクロ・ナノプラスチックの危険性」	7
グリーンコープのイチオシ! 産直豚肉	8

グリーンコープ | 持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

2026年7月の
組合員数 (7/20現在)

432809人

互恵のためのアジア民衆基金
2026年7月に
組合員の利用によってたまったのは
595,690円
2009年4月からの累計は117,713,031円



共生・循環酪農プロジェクト

耶馬溪ファーム開場式

日本の酪農の明るい未来に向けて耶馬溪ファームが始動



施設見学

参加者は各施設を見学し、説明を受けました。牛たちの健康と働く人たちの安全、環境への配慮が随所に施された酪農場であることを実感しました。



成牛舎。牛1頭あたり8㎡の広々空間。



堆肥2次発酵槽。臭いのない完熟堆肥を作る設備。



生乳が17トン入るバルククーラー（冷却保存タンク）。自動洗浄で常に清潔です。



左から、耶馬溪酪農組合 組合長 伊原忍さん、グリーンコープ共同体 代表理事 日高容子さん、(株)耶馬溪ファーム 代表取締役社長 脇坂伸彦さん、下郷農業協同組合 理事 組合長 玉麻農夫男さん

グリーンコープは、食べものの運動の象徴である「産直びん牛乳」を自分たちの手で生み出す共生・循環酪農プロジェクトに取り組んでいます。

7月1日、プロジェクトの要である900頭規模の酪農場「耶馬溪ファーム」が大分県中津市に開場しました。

開場式と当日行われた施設見学の様子、乳牛が導入されて搾乳が始まった耶馬溪ファームの今の様子を伝えます。

多くの人の夢が詰まった酪農場が開場

耶馬溪ファームの開場式には、組合員をはじめ関係者と、中津市長や地域の方々を含めて約250人が参加しました。メディアの関心も高く、大分の全テレビ局と福岡のテレビ局、新聞各社の取材がありました。

(株)耶馬溪ファーム代表取締役社長 脇坂伸彦さんは、「様々な農業の経験と専門家の知見を交え、耶馬溪ファームをつくってきました。牛たちが健康で快適に過ごせる環境と、社員が安心して安全に働ける職場であることが、皆さまでに安定して安心・安全な生乳を届けることにつながると思っています。地域と共に歩み、次の世代に酪農をつなぐ拠点として、社員一丸となって酪農経営に取り組んでいきます」と挨拶しました。

とても楽しみにしています。酪農家の皆さんに感謝するとともに、多くの組合員に飲んでもらえるよう利用を増やす取り組みを力強く進めていきます」と、いよいよ登場する産直グリーンコープミルクへの期待を伝えました。

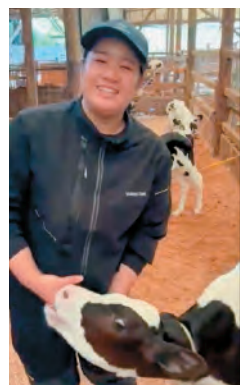
中津市長の奥塚正典さんが、「耶馬溪は、戦後人植した人々が厳しい自然環境と向き合い汗を流しながら開拓してつくり上げた、大分県でも有数の酪農地帯です。酪農を取り巻く環境が大変厳しい昨今、最新鋭の設備を備えた耶馬溪ファームの開場は、新たな希望です。昨年開業したびん牛乳工場(株)グリーンコープミルクと共に雇用を生み出し、地域振興と地域経済の発展につながる事業として期待しています」と祝辞を述べました。

生産者と共に取り組み酪農の課題を解決

年前に開始した話し合いでは、三つの大きな課題（堆肥の処理・活用、飼料の生産・確保、働き手の確保）の解決なくしては、持続可能な酪農経営は成り立たないとして、検討を重ね、循環型酪農の形が生まれました。

また、働き手として、耶馬溪酪農組合から経験者を迎え、正社員の新規採用、酪農を国策として推進しているインドネシアなどからの技能実習生、グリーンコープの職員が集まりました。社員は、耶馬溪酪農組合の牧場で経験を積み、それぞれが夢や希望をもって耶馬溪ファームで活躍します。

組合員をはじめ多くの人の夢と期待をのせて、日本の酪農の明るい未来に向け、いよいよ耶馬溪ファームは動き出しました。



子牛の世話を頑張りたいと話す耶馬溪ファームの社員

耶馬溪ファームは、牛にも、人にも、環境にも優しい酪農場です

最新設備の搾乳棟

保護パイプがあり、牛に蹴られる危険がなく、働く人の安全を確保しています。

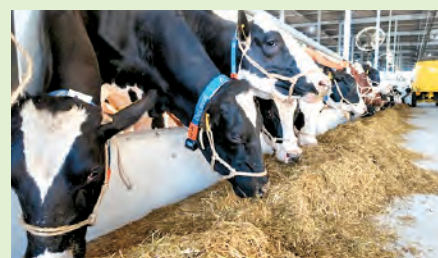


※パラレルパーラー方式を導入し、15分ほどで効率よく一度に40頭の搾乳ができます。

※牛を並列にして搾乳するシステム。

搾乳した生乳はプレートクーラー（冷却器）に通し、一気に6℃に冷やします。

快適な牛舎



よどんだ空気が苦手な牛のために、常に澄んだ空気を取り込む設計にしています。

牛舎の屋根には、熱がこもりにくい特殊加工を施し、夏も快適に過ごせます。

7月10日、初妊牛（初めての出産を控える牛）28頭導入。
7月15日、搾乳牛（現在搾乳を行っている牛）88頭導入。搾乳を開始。

堆肥を敷いた牛床はふかふかです。牛舎は清潔でサシバエの発生を抑え、牛のストレスを軽減します。



め産直グリーンコープミルク ノンホモ おいしさのヒミツ

パスチャライズ殺菌 (72℃15秒)

生乳本来の風味と栄養をキープ

人体に有害な菌は死滅させつつ、熱に弱い水溶性カルシウムやタンパク質の変性を抑えています。甘みとコクがありながら、後味スツキリ。

クリームライン が浮かぶ ノンホモ製法

クリームラインは 生乳に近いし

脂肪球を砕く「ホモゲナイズ」をしていないから、静置すると天然の生クリーム層ができます。軽く振って飲んでください。生乳のおいしさをダイレクトに味わえます。

組合員がデザインした リユースびん



ゴクゴク
飲みたい!
もう1杯
飲みたい!

一頭一頭大切に育てた母牛のお乳 耶馬溪ファームの生乳 (耶馬溪酪農組合を含む)

飼料が明らか

耶馬溪ファームの母牛の飼料は、国産比率70%以上。遺伝子組み換え作物の混入を防ぐ分別生産流通管理をした良質な飼料です。

健康な母牛から搾る 品質のよい生乳

※BMW技術を活用した、清潔な牛舎で、ストレスなく健康に育った母牛の生乳です。

※B (バクテリア)、M (ミネラル)、W (ウォーター) の頭文字に由来する。自然界のメカニズムを応用し、土壌や水を活性化させて自然循環型の農業などを行う技術。

搾りたての風味豊かな生乳を 新鮮なうちに

耶馬溪ファームから工場のグリーンコープミルクまでは、車で10分程の距離。移動時の衝撃が少ないため、生乳の風味を損ないません。

においを通さず鮮度を守るびん 冷蔵庫内のおいしさを防いで、最後までおいしい!

カーボンニュートラルに貢献 飲み終わったびんは、洗って返してまた牛乳びんへ。

め産直グリーンコープミルク誕生キャンペーン
いよいよ「め産直グリーンコープミルク
ノンホモ」が誕生します!
あなたに、飲んでいただきたい。
この秋から、順次、サンプル1本、
お届けします。
驚きの味わいを体験してください。

いよいよ、耶馬溪ファームの生乳を原料とする牛乳の製造が始まります。私たちが心待ちにしていた、め産直グリーンコープミルクノンホモが、ついに誕生です。

「子どもたちに安心・安全なびんの牛乳を飲ませたい」。そんな私たちの望みを叶えた牛乳の誕生を祝い、そのおいしさを多くの組合員に知らせるために、お試しキャンペーンを行います。

私たちの望みを すべて叶えた牛乳が ついに誕生

グリーンコープでは、「生乳に近い、ほんものの牛乳が飲みたい」という組合員の願いを一つずつ実現することで、「産直びん牛乳」という理想の牛乳を誕生させ、20年以上大切に飲み続けてきました。しかし、2024年12月にびんメーカーと牛乳製造工場、生乳生産者との取引が終了し、産直びん牛乳の供給は終了しました。

め産直グリーンコープ ミルクノンホモの 製造開始

グリーンコープは、「産直のびん牛乳をこれから

め産直グリーンコープ
ミルクノンホモは9月か
ら数量限定で製造できる



ようになりまます。乳牛の導入が順調にいけば、2027年1月には現在のめびん牛乳ノンホモに代わりめ産直グリーンコープミルクノンホモをお届けできます。2027年10月頃には、め産直グリーンコープミルクパステライズ、め産直グリーンコープミルクカフェミルも登場する予定です。すべての牛乳が産直グリーンコープミルクへと切り替わるころには、現在の年間500万本利用を、700万本になるように、利用を呼びかけていきます。この牛乳事業は年間700万本の利用があつて成り立つものです。そのためには、一人でも多くの組合員が1本でも多く利用することが欠かせません。まずは無料サンプルでそのおいしさを実感しましょう。



グリーンコープ生協おかやま 理事長 安場 美須寿

理事となり早10年。様々な学習会に参加しました。民衆交易、せつけん、食べもの、農業、遺伝子組み換え。理事生活後半は福祉委員会や組織委員会に所属し、深く学ぶ機会にも恵まれました。福祉政策、子どもの貧困、香害、託送料金、原発廃炉、戦争、PFAS、地球温暖化、日本の農業が抱える問題。

学習会で得た驚きは話さずにはいられない。聞かされる子どもからは変人扱いされる日々。そんな子どもも今では大学生。「社会を変える力を持つ大学に入れたのだから、色々勉強してみるわ」と言って巣立っていきました。

私が今一番関心を持っているのはナノプラスチック問題。細胞膜をすり抜けて、ヒトの力では排出できない小さな小さなプラスチックをどうしていけばいいのやら。これからも学びは続きます。

カタログGREEN51号、52号で受け付けた ネグロス台風被害・復興支援募金 ご協力ありがとうございました

組合員から
寄せられた
支援金

1,907,000円

支援金は、グリーンコープが責任を持って、関係団体と一緒に支援・復旧活動に役立てていきます。

め産直グリーンコープミルク 誕生キャンペーン

めびん牛乳ノンホモを 予約利用中の方

全員に1本、無料でプレゼント!
新しいめ産直グリーンコープミルク ノンホモのおいしさをいち早く実感してください。
(申し込みは不要です。)

めびん牛乳ノンホモを 予約していない方

申し込みの方全員に、1本無料でプレゼント!
新しいめ産直グリーンコープミルク ノンホモのおいしさを実感して、ぜひ牛乳の予約をしてください。

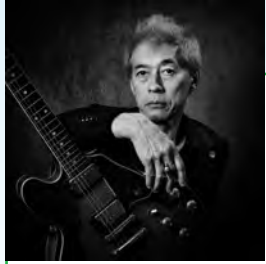
無料プレゼントは順次お届けしていきます。詳しくは、カタログGREEN26号別紙チラシ(8月31日週配布)をご覧ください。

2027カーボンニュートラル学習会 主催：グリーンコープ共同体 2026年6月17日 会場：福岡市 参加人数：111人（オンライン含む）



一人ひとりの小さなアクションが

気候危機を止める大きなうねりに



講師 島 昭宏さん

アーライツ法律事務所
代表弁護士 ※5
一般社団法人JELF理事長

※5 日本環境法律家連盟 1996年に設立された環境保護に取り組む弁護士の団体。「シロクマ訴訟」「沖縄ジュゴン訴訟」「若者気候訴訟」など環境問題に関わる。

環境問題を世の中に発信 「憲法LOVE」ロッカー・弁護士

パンクバンド「the JUMPS」のボーカル。大学時代から環境・人権問題をテーマとする音楽活動をライフワークとしてきた。しかし、「売れないバンド活動では社会を1ミリも変えられない」という現実に直面。司法試験科目に「環境法」が新設されたのを機に、42歳で弁護士を目指す。2010年、48歳で弁護士に。法律を学ぶうちに、憲法の魅力に取りつかれる。

2011年に日本初の気候変動訴訟のための「シロクマ弁護団」に参加。東京電力福島第一原発事故後はエネルギー問題にも注力。現在は音楽活動を続けながら「気候正義訴訟」の弁護団代表として、環境問題や原発問題を社会へ提起し続けている。

※6 環境保全に関する法律分野の総称。

気候正義訴訟とは

消極的な気候変動政策により平穏生活権（気候享受権）などの人権が侵害されたとして、国に対して損害賠償を求める訴訟。全国から原告を募り、2025年12月、東京地裁に一次提訴。2026年4月に二次提訴を行った。集まった原告数は計906人にのぼる。

あなたも原告になりませんか。

詳しくはコチラから→



社会参加としての気候正義訴訟と その可能性

広がる世界の気候訴訟 進まない日本の現状

2015年のパリ協定では、世界の平均気温上昇を産業革命前より2℃未満（努力目標1.5℃）に抑え、今世紀後半に温室効果ガス排出を実質ゼロにすることをすべての国が目指すことが採択された。そして、すべての加盟国は、温室効果ガスの排出量削減目標と、その達成に向けた具体的な削減計画を立て、公表することが決定。さらに、「温室効果ガス排出量の多い先進国が、より重い責任を負う」ことが明確にされた。先進国は先頭

に立つて対策をする役割がある。しかし、CO₂排出量の大半を先進国が占めており、温暖化は加速している。世界では気候変動をめぐり、国を相手にした市民訴訟が広がっている。ドイツや韓国などの憲法裁判所がある国では、「国の不十分な気候変動対策は、市民の人権侵害に当たる」として、政府の法的責任を問う裁判で市民側が勝訴している。

一方日本では、国際社会では認められている「環境権」が法的な権利として認められておらず、気候変動対策に関する法律は整備されていない。

気候変動による 理不尽な「不平等」

「シロクマ訴訟」の当事者として参加したツバルの人々は、CO₂をほとんど排出していないにもかかわらず、温暖化による海面上昇で国が水没

そのため訴訟提起までのハードルが高く、訴訟件数も極めて少ない。2012年に日本で初めての気候変動訴訟「シロクマ訴訟」が起これ、その後4つの気候変動裁判が提訴されたが、そのうち3つは原告側が敗訴しており、未だに勝訴はない。現在は、大手電力会社を提訴した「若者気候訴訟」と、国を提訴した「気候正義訴訟」の2つが係争中である。

する危機にさらされている。気候変動問題には、「原因をつくった先進国や事業者ではなく、温暖化に責任のない地域が最も深刻な被害を受ける」という理不尽な「不平等」が存在している。さらにこれからは生きる若者世代に、深刻な猛暑や自然災害など大きな影響を与え、世代別の「不平等」をも生じさせている。

気候変動による「不平等」を正し、「責任を取るべき人間が責任を取る」という理念が「気候正義（クライメイト・ジャスティス）」これを訴訟名に据え、私たちは国を相手に闘おうとしている。

世界水準に届かない 日本の削減ペース

IPCC報告書では、CO₂排出削減目標を、2030年までに2019年比43%、2035年までに60%、2040年までに69%と定めている。日本の削減目標は、それぞれ46%、60%、73%とあり、一見削減目標をクリアしているようだが、

実は2013年比の数字を挙げている。この年は、2011年の福島第一原発事故により国内すべての原発の運転が止まったため、休止していた古い火力発電所を動かすなど、CO₂排出量が最も多い年だった。2019年比に換算すると、実は39%、52%、67%にしかならない。IPCC報告書の削減目標を、大きく下回っているのである。

※4 気候変動に関する政府間パネル。気候変動に関する最新の知見をとりまとめ、世界各国に提供する国連の政府間機関。

消極的な温暖化対策は 違法であり人権侵害

「気候正義訴訟」には、2つの争点がある。1つは、人権侵害を招いたことについて国に過失があるかどうかということ。過失があるというためには、気候変動対策として、国が1.5℃目標を達成するための法的義務を負っていることが前提となる。日本の地球温暖化対策推進法（以下、「温対法」）には、パリ協定への合意や温暖化対策の推進が明記されている。これが、国に温暖化対策を講じる義務が存在するという根拠の一つになると考える。また、2025年7月にICJ（国際司法裁判所）が発表した「気候変動に関する国家の義務についての勧告的意見」では、各国が1.5℃目標に向けて温室効果ガスの排出を削減し、気候システムを保護することは努力目標ではなく、国



2025年に一次提訴した、島さんが弁護団代表を務める「気候正義訴訟」の原告団。

もの成長発達権も現に脅かされている。気温の急激な上昇は、第一次産業などに経済的損失をもたらし、営業の自由（炎天下で作業ができない）や財産権（エアコンの購入や24時間稼働などによる出費）をも侵害している。このような状況下における国の怠慢により、重要な人権の一つである「平穏生活権」が脅かされている。これは憲法第13条と第25条から導かれる「人格権」を構成する権利で、そこには気候変動による災害などに生命・身体・財産を脅かされることなく、安定した気候の下で平穏に暮らす権利（気候享受権）が含まれる。この現状から、国が平穏生活権を侵害しているといえる。

一人の意思ある行動が 社会を動かす原動力に

これまで日本の気候変動訴訟で勝訴した例はないが、敗訴しても、次の裁判に活かせる価値ある判断を引き出すことがある。判例を積み重ねることが、次の裁判のためにとても大事なのだ。

「気候正義訴訟」に原告として参加したり、裁判を傍聴することは、司法の背中を押す大きな力になっている。一人ひとりの主体的なアクションこそが、気候危機の深刻さをもつと世の中に広め、社会を大きく変える力になると信じている。関心を持つ人を増やし、社会に大きなうねりをつくって、国を動かしていこう。

マイクロプラスチック・ナノプラスチックの
特徴と毒性

	マイクロプラスチック	ナノプラスチック
サイズ	5mm以下(1μm以上) ※μm=マイクロメートル。1μmは1mmの1000分の1	1μm未満
特徴	プラスチックポリマー +添加された化学物質	プラスチックポリマー +添加された化学物質
吸収	吸収される	より吸収されやすい
体内動態	通常は消化管内にとどまる	さまざまな臓器に蓄積しうる
毒性	消化管を物理的に詰まらせたり、吸着した有害物質を体内に移行させる可能性	サイズが小さく、細胞膜を通過し、より深刻な細胞レベルの影響を及ぼす可能性

当日資料より一部加工して掲載



岐阜大学大学院
医学系研究科
脳神経内科学分野
しもはた たかよし
教授 下畑 享良さん

私たちの身体に忍び寄る

マイクロ・ナノプラスチック汚染

暮らしを便利にする素材として身近にあるプラスチック。近年は直径5mm以下という微小なサイズのマイクロプラスチックやナノプラスチック(以下、総称してMNPs)による環境汚染や生物への影響が大きな問題となっています。

4月19日、「有害化学物質から子どもを守るネットワーク(子どもケミネット)」の年次総会と記念講演会が、東京の会場とオンラインで開催され、会場にはグリーンコープから7人が参加しました。

記念講演では、岐阜大学大学院教授の下畑享良さんが、MNPsの人体への影響について、最新の科学情報に基づいて話をしました。当日の講演要旨と、グリーンコープのプラスチック削減の取り組みについて紹介します。

記念講演

マイクロ・ナノプラスチックの危険性

全身の組織に入り込み蓄積するMNPs

MNPsには、化粧品や柔軟剤に入っているマイクロビーズなど意図的に作られたもののほか、化学繊維やタイヤ、ペットボトルなどのプラスチック製品が劣化・破砕することによって発生するものがあります。プラスチック素材のティーバックや、びん入り飲料のキヤップ裏のプラスチックシールからも溶出することが明らかになっています。ナノプラスチックは、マイクロプラスチックよりサイズが小さく、電子顕微鏡でも観察が難しいと言われてきましたが、技術の進歩により、この1〜2年である程度観察が可能になりました。

MNPsは、飲みものや食べもの、大気などを通して、主に口や鼻から体内に取り込まれます。また、医療行為でプラスチック製の医療機器を使うことによって取り込まれる場合もあります。肝臓や腎臓など多くの臓器からMNPsが検出されています。

2025年、医学雑誌Nature Medicineに、脳から、肝臓や腎臓の10倍

有害化学物質から子どもを守るネットワーク
子どもの発達・健康に有害な化学物質について、国内外の研究・対策の最前線を学ぶとともに、立法、行政に対して必要な対策の実施を働きかけることを目的として、2023年4月に発足したネットワーク組織。グリーンコープの16会員生協と共同体も加盟。

が検出された人では、検出されなかった人に比べ、心筋梗塞、脳卒中、死亡のいずれかが起こるリスクが約4.5倍高かったことも報告されています。

同じく2024年の中国の論文では、全身の様々な血栓からもMNPsが検出され、その濃度が高い人ほど脳卒中の重症度が高くなると報告されました。さらに、2025年に発表されたアメリカの疫学研究では、沿岸地域の中でも海中のMNPs濃度が高い地域ほど、冠動脈疾患、脳卒中、2型糖尿病の有病率が高いことが報告されています。また、脳や脳脊髄液内にあるMNPsと、アルツハイマー病やパーキンソン病との関係を示唆する研究もあります。

また、プラスチック製品には、原料となるポリマーに、さまざまな化学物質が添加されています。その中には発がん性物質や神経毒性物質、環境ホルモンなど有害なものも多く、体内に侵入して高濃度で脳に蓄積したり、細胞膜を通過して細胞そのものにダメージを与える可能性があります。

脳血管障害や認知症などの新たなリスク要因に

2024年に報告された研究によると、イタリアの2つの施設で、頸動脈のプラーク(コレステロールの沈着物)を取り除く手術を受けた257人のうち、150人(58%)のプラークからポリエチレンが、31人(12%)からポリ塩化ビニルが検出されました。MNPs

られます。また、様々な臓器が発達するこの時期にMNPsに曝露すると、臓器の発達に影響が生じる可能性があることも示されています。

さらに、胎盤や臍帯血、羊水や胎便からマイクロプラスチックが検出されたとの報告もあります。母体が摂取したマイクロプラスチックが胎盤を通して胎児に移行すること、すでに胎児期から曝露が始まっていると考えられます。予防原則に基づき、妊娠期や乳児期の曝露を減らす工夫が必要です。

プラスチック汚染を減らすために

かつて人類の発明の象徴であったプラスチックは、今や「見えない毒」として脳や血管に静かに影を落としています。この事実をまだ認識していない人も多く、医療者は、最前線でのリスクを見極め、科学的エビデンスを社会に発信することが求められます。

MNPsの摂取を減らすために、個人でできることには限界があり、社会全体でプラスチック削減に取り組むことが必要です。次世代の子どもたちのために、みんなで知恵を出し合ひましょう。

グリーンコープの
プラスチック削減の取り組み

環境のために、そして子どもたちの未来のために、グリーンコープは設立当初から、商品の容器・包材にプラスチックをできるだけ使わないことを基本とし、容器・包材のリユース・リサイクルに取り組んできました。環境配慮型包材への切り替えも積極的に進めています。

グリーンコープの商品を利用する、使用後の容器やトレーを返すなど、組合員一人ひとりの小さな行動がプラスチック削減につながっています。

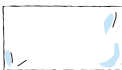
びんのリユース

牛乳や調味料などの容器には、プラスチックではなくガラスびんを使用しています。リユースびんは使用後に回収し、洗浄後に再びグリーンコープのびんとして利用します。ガラスびんは環境ホルモンや化学物質が溶出する心配もなく、中身の品質を守ります。



袋to袋

商品の配達に使った仕分け袋を回収して原料に戻し、再び仕分け袋として再生利用するグリーンコープ独自の循環型リサイクルシステムです。新しい原料だけで作るよりも、使用するプラスチックの量を減らすことができます。



トレー toトレー

肉などのトレーを使用後に回収し、新しいトレーの原料として再生利用するグリーンコープ独自の循環型リサイクルシステムです。新しい原料だけで作るよりも、使用するプラスチックの量を減らすことができます。グリーンコープのトレーは環境ホルモンの心配がない原料で作られています。



たまご容器(モールドパック)のリサイクル

グリーンコープのたまごの容器は、プラスチック製ではなく、古紙(雑誌や新聞など)を原料に作ったモールドパックです。空になったモールドパックは回収して原料に戻し、たまごトレーや段ボールなどの紙製品にリサイクルしています。

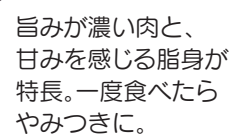


環境配慮型包材への切り替え

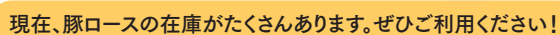
商品の包材に、サトウキビの搾りかすやトウモロコシなどのバイオマス原料、再生原料を使用し、さらにこれまでより包材の厚みを薄くすることで、プラスチック使用量の削減を進めています。



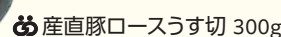
このマークが目印!
マークの数字は、環境に配慮した原料が使用されている割合を示しています。



☆産直豚ロースうす切300gを油で炒め、
☆国産レモンのドレッシング(大さじ3)、
 醤油(大さじ1/2)、おろしにんにく(小さじ
 1/2)を合わせたものを加えて、ひと煮立
 ちさせる。



貧血を防ぐ鉄の他、成長期に必要な亜鉛も豊富。



A photograph showing several pigs in metal cages at a slaughterhouse. One pig is lying down in the foreground, while others are standing in the background. The cages are made of metal bars, and the floor is wooden slats.

動作可能バージョン: 推奨バージョン:14
12~17.2 動作可能バージョン:7~15